

## ～伊万里市消防団の歴史～

明治22年	5月	伊万里町に私設消防組を設置
同 39年	4月	同上を公設に改革する
大正15年		各町村に公設消防組を設置
昭和14年	4月	各町村の消防組を警防団とする
同 19年	1月	伊万里町警防団の組織改正 4個分団 1,345名
同 20年	5月	伊万里町警防団に常備消防部設置
同 22年10月		各町村の警防団を消防団とする
同 29年	4月	市制施行、伊万里市消防本部、 伊万里市消防団発足 12個分団 3,200名
同 35年	4月	消防団常備部廃止
同 45年	4月	消防団定数を2,200名とする
同 46年	1月	分団名称を町名分団名称に改める
同 50年	3月	消防団統合整備計画完了、消防車4台、積載車38台、小型ポンプ80台、定員1,200名 消防庁長官表彰旗受領する。
同 55年	5月	大坪分団 新部設置、分団定員変更
同 59年	5月	黒川分団 部の再編
平成 3年	7月	女性消防団員(24名)辞令交付
同 8年	8月	第23回佐賀県消防操法大会 「小型ポンプの部 二里分団優勝」
同 8年10月		牧島婦人消防隊、第12回全国婦人消防操法大会で「優秀賞」
同 10年	3月	日本消防協会より表彰旗受領
同 15年	7月	消防団定数を1,100名とする。
同 19年10月		消防団定数を1,020名とする。
同 20年	4月	南波多分団 部の再編
同 22年	4月	黒川分団 部の再編
同 22年10月		波多津分団1部に消防団救助資機材搭載型車両配備
同 24年	2月	大坪分団10部に消防団多機能型車両配備
同 26年	4月	大川分団 部の再編
同 27年	4月	伊万里分団発足 ※旧伊万里分団と旧牧島分団の統合再編
令和 2年	4月	消防団定数を928名とする。
同 4年	3月	伊万里分団5部に救助資機材・小型動力ポンプ搬送車配備